

令和五年十月二十九日 代神誕生記念祭

神 示

今日は代神——使者供丸齋の 救世の歩みを

尊く見詰める心がほしい

この心が 信者の人生を高くする

心明るく 素直になって 「教え」が心に入る

信者に申す

「人生」に関わり 影響を与えた恩人・恩師が 使者供丸齋

直使と使者供丸齋 お二方の出会いにも 恩愛の絆があった

信者と代神 この関わりに 恩情がある

精神世界でかなうつながりが 今日もある

神が世に示し 現した神示教会の姿が

使者供丸齋の面影に重なる

「希望の光」を万人が通せるように

神示教会の礎を築き 直使の救世心を神へとつなぎ

「三筋の道」を人々に示し続けた

この救世の歩み・功績を 信者は見詰め 知ることが必要

知るほどに 信者の心は

直使 使者供丸齋 お二方の救世の愛に重なってゆく

自然と教会愛が芽吹き 深まり

ますます「教え」の真実が悟れる

悟れて 信者の人生は 神の手の中包まれて

「希望の光」に救われ 守られてゆく